

資料 4 広報しそう H26.3 月号より

市政情報の発信度をチェック

情報発信アンケートの結果

問合せ先 ●秘書広報課 ☎63-3115

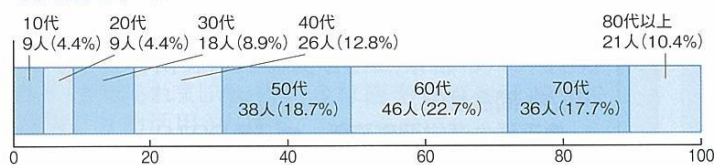
広報しそう、しーたん通信、しそうチャンネル、そしてインターネット…

市役所から市民の皆さんに情報をお伝えする手段は、さまざまなものがあります。

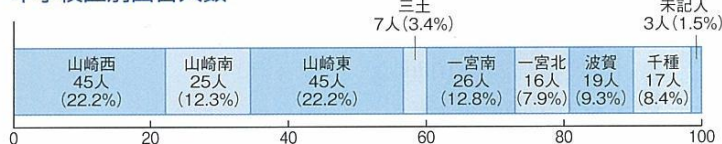
宍粟市では、これら情報発信媒体を効率的に運用するため、各媒体に関するアンケート調査を行いました。

結果の概要について紹介します。

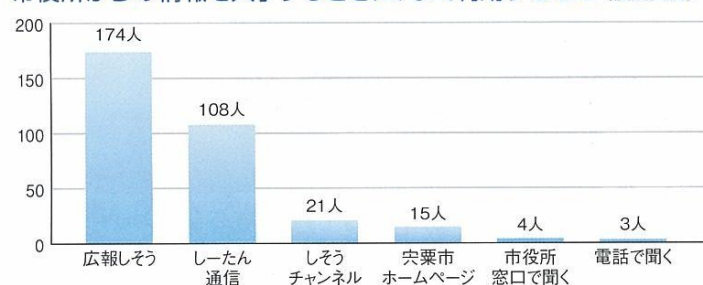
年代別回答人数



中学校区別回答人数



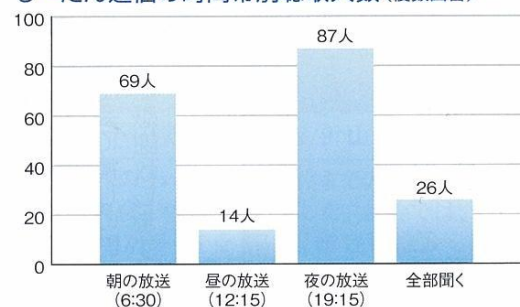
市役所からの情報入手するときに、よく利用するもの（複数回答）



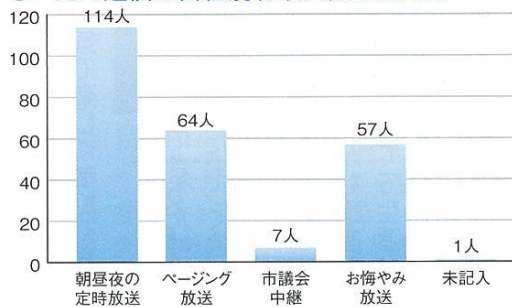
しーたん通信に加入している世帯の約8割が、ほとんど毎日、放送を聞いています。番組ごとの聴取率は、朝昼夜の定時放送が73パーセント、ペーシング放送が41パーセントでした。お梅やみ放送は一宮、波賀、千種地域のみで放送ですが、聴取率は82パーセントで、定時放送以上に多くの皆さんが聞いていることがわかりました。

しーたん通信全体の聴取率は回答総数の76パーセントでした。自治会単位や学校単位の放送、災害時などにも活用ができることなどをさらに周知し、聴取率の向上に努めます。

しーたん通信の時間帯別聴取人数（複数回答）



しーたん通信の番組別聴取人数（複数回答）



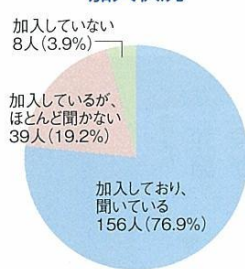
調査は平成25年12月から1月にかけて行いました。15歳以上の宍粟市民500人を無作為抽出し、無記名式のアンケート用紙を送付、約4割にあたる203人から回答をいただきました。

アンケート項目は年齢、性別、お住まいの中学校区などの基本的事項、しーたん通信やしーたんチャンネルなどの放送媒体の加入および番組の聴取や視聴の状況、パソコンやスマートフォンの情報端末機器のインターネット活用方法などでした。

アンケート調査の概要



しーたん通信の加入状況



しーたん通信 聴取率7割以上「みじかな放送局」



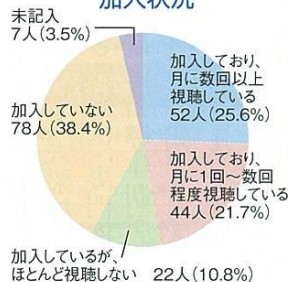
資料 4

広報しそう H26.3 月号より

また、一方で未加入の世帯が回答総数の38パーセントを占めており、さらに身近なテレビ しそうチャンネルとして、その魅力をPRすると共に、災害時の緊急情報や河川の増水情報などを発信する重要な情報発信システムとして加入促進に努めます。

しそうチャンネルに加入している世帯のうち44パーセントが「月に数回以上視聴している」、37パーセントが「月に1回〜数回視聴している」との回答でした。8割以上の人が視聴されているが、さらに視聴率向上にむけ、番組の充実に努めます。

しそうチャンネルの加入状況



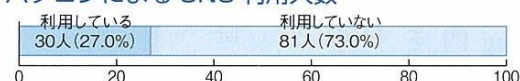
しそうチャンネルの時間帯別視聴人数 (複数回答)



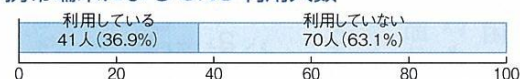
しそうチャンネルの分野別視聴人数 (複数回答)



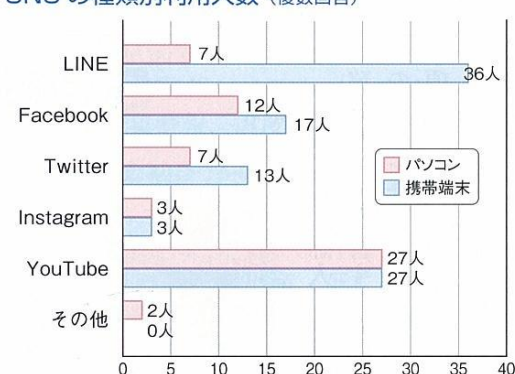
パソコンによる SNS 利用人数



携帯端末による SNS 利用人数



SNS の種類別利用人数 (複数回答)

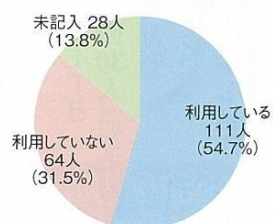


調査によるとインターネット普及率は約54パーセントでした。利用の内訳は情報収集や通信販売、電子メールのやり取りなどがあります。が、その中でも近ごろ注目されているSNS(※)の利用率は、パソコンで27パーセント、スマートフォンなどの携帯端末で36パーセントでした。SNSの主な使い道はYouTube(ユーチューブ)の閲覧、Facebook(フェイスブック)やTwitter(ツイッター)など

が挙げられ、そのなかでもLINE(※)(ライン)は、携帯端末を利用している人のうち87パーセントと高率でした。しかし、利用率上昇の陰で、誹謗中傷、成りすまし、偽りの情報などから犯罪に結びつく場合もあると専門家から指摘されています。利用する際は「手軽で情報が早い」というイメージの裏に潜む危険性を知っておく必要があります。

※SNSはパソコンや携帯端末を使って発信する日記やメッセージなどを通じて、知人・友人・共通の趣味を持つ人たちとの交流を目的としたサービスの総称。
※LINEは通話や文字会話などが無料で出来るサービス。

インターネットの利用状況



しそうチャンネル
身近なテレビ

課題は加入率の向上



インターネット
「スマホ」「LINE」

が急成長

